

あいちの印刷

3

2012.3
No.484



MEDIAGE Aichiの外観
左は会館入口に立つモニュメント

もくじ

巻頭言「感謝」／副理事長 細井俊男 …………… 3
 愛知県印刷工業組合「MEDIAGE Aichi
 (メディアージュ愛知)」竣工記念祝賀会 …………… 4
 竣工記念祝賀会における理事長の挨拶 …… 8
 身近な催し物のお知らせ …………… 8
 竣工記念講演会 …………… 9
 平成23年度2月期理事会・支部長会 …… 10

東日本大震災復興事業記念貨幣の
 デザイン募集 …………… 11
 「グリーン購入法」情報 …………… 12
 「冬季印刷技術セミナー」開催 …………… 13
 第11回印刷産業環境優良工場表彰応募要領 …… 13
 第2回ポスターグランプリコンペティション
 ／お知らせ／事務局だより …………… 14

巻頭言

「感謝」

副理事長 細井 俊男

我々の新しい基地、印刷会館「MEDIAGE Aichi」(メディアージュ愛知)が、竣工しました。約50年の歳月が流れ生まれ変わった姿は、今の時代に即したすばらしい建物になりました。

よく知り合いに「高岳に印刷会館ってあるよね、もうかなり年代ものだね!」と言われた覚えがあります。

この業界に生きる者として、印刷が古臭いイメージを持たれたような気がして、悔しい思いをしたことを覚えています。

また、昨年の震災後は特に老朽化した建物でのセミナー開催に不安を感じたこともありました。

新会館には、関連業界・団体の方々にも以前からも入居していただいておりますが、まだテナントに余裕があるので是非、印刷関連業界の方に入居いただくと新たな情報発信基地として、更にシンボリックな存在になるのではないのでしょうか。

新会館の建替えには、本当にたくさんの方々や組合員の皆さんにご協力をいただきました。感謝を申し上げます。

しかし、今回の新会館の建設に際して、私が最も感謝を申し上げたいのは、前理事長で協同組合の白井紘一理事長と現工業組合の高井昭弘

理事長であります。

このお二人がいなかったら新会館の建設は、まだ実現していなかったと思っています。

何年も前からお二人が建替えのことを話してみえるのを知ってはいましたが、聞けば聞くほど複雑な状態で、一筋縄ではとても解決できない問題が、山積みの状態でした。ただでさえ公務に追われてお忙しい中、本当にご苦勞なさったと思われまます。

以前より高井理事長は方針の中で、経常利益率5%達成・業態変革の推進を唱えてみえました。

組合員の皆さんの中には、「そんなこと言っても無理だよ!」なんて思われた方もみえるかも知れませんが、新会館の建設過程で、お二人のリーダーシップと、目標達成への執念の凄さを感じました。

私は経営革新委員会の担当ですが、セミナーでどんな勉強をして知識を得ても、どんな目標を掲げてても要は必ず実行して目標を達成する不退転の精神が必要である事を、改めて学ばせていただきました。

お二人が、「MEDIAGE Aichi」(メディアージュ愛知)という財産を業界に残して下さったことに深く敬意と感謝を申し上げます。

四六半載
OLIVER 480SD/SDP

さらにグレードアップ!!

究極まで追求した
最新テクノロジーを随所に採用し、
更なる高品質・高生産性を実現。



オリバー480SD
四六半載4色印刷機

Sakurai
株式会社 櫻井印刷工業株式会社
<http://www.sakurai-press.com>

本 社
〒135-0012 東京都江東区橋本2-2-9
TEL: 03-3643-1131 (FAX: 03-3643-1138)

中部営業所
〒501-3713 岐阜県美濃市3951
TEL: 0575/33-2351 (FAX: 0575/33-2887)

大坂営業所
〒511-0012 大阪府淀川区木津3-4-31
TEL: 06-6308-6651 (FAX: 06-6308-6679)

九州営業所
〒810-0021 福岡市中央区天神5-6
TEL: 092/741-2672 (FAX: 092/741-2670)

組立工場
〒501-3713 岐阜県美濃市3951
TEL: 0575/33-1360 (FAX: 0575/33-1146)



愛知県印刷工業組合 竣工記念祝賀会 新印刷会館「MEDIAGE Aichi(メディアージュ愛知)」



印刷産業発展の“要”
情報発信基地、人材教育センターの役割を担い

約130名が出席した竣工祝賀会。円内は、司会を務めた岡田副理事長

■竣工記念祝賀会に来賓・組合員ら約130名が出席 新印刷会館「MEDIAGE Aichi」の竣工を祝う

新印刷会館「MEDIAGE Aichi」の竣工記念祝賀会が2月16日午後5時30分より、竣工なった会館の4階において、来賓、組合員ら約130名が出席し行われた。

岡田邦義副理事長の司会で、白井紘一愛知県印刷協同組合理事長（別項参照）、高井昭弘愛知県印刷工業組合理事長（別項参照）が挨拶、次いで、感謝状贈呈に移り、会館建設に多額の寄付をした前崎弘光氏（昭和印刷㈱、前崎正太郎氏代理出席）、会館の名称募集で、MEDIAGE Aichiと命名した江口豊



感謝状を受ける前崎正太郎氏



感謝状を受ける江口豊隆氏



祭壇も祭られました

隆氏（江口印刷㈱）、会館建設の設計監理を担当した㈱オーク建築設計事務所、建設工事を担当したまるひ建設㈱にそれぞれ感謝状が贈られた。

来賓祝辞では、全国中小企業団体中央会会長（愛知県中小企業団体中央会会長）鶴田欣也氏、中部地区印刷協議会会長（岐阜県印刷工業組合理事長）四橋英児氏がお祝いの言葉を述べた。次いで、乾杯の音頭を全日本印刷工業組合連合会会長水上光啓氏が行い祝宴に入った。

出席者が竣工を祝うとともに歓談に華をさせた。宴たけなわの中、木野瀬吉孝副理事長の中締めで竣工祝賀会を終了した。



「健康な印刷産業、夢のある印刷産業へ、その道筋を示す拠点がMEDIAGE Aichiである」と、高井昭弘愛知県印刷工業組合理事長



「私は、理事長を拝命したとき、その役割は“橋渡し役”と申しあげた。新印刷会館の竣工により、役目が果たせたのではないかと思う」と、白井紘一愛知県印刷協同組合理事長



乾杯の発声をする水上光啓全日本印刷工業組合連合会会長



来賓祝辞を述べる鶴田欣也全国中小企業団体中央会会長(左)。来賓祝辞を述べる四橋英児中部地区印刷協議会会長(上)

時間のたつのも忘れ、新たな情報発信基地となる新印刷会館「MEDIAGE Aichi」への期待を胸に、和気藹々の懇談が続いた竣工披露祝賀会

お礼の言葉を述べる木野瀬吉孝副理事長(右上)



「MEDIAGE Aichi」竣工祝賀会に集う皆さん

「メディアージュ」とは、メディア(Media)と世紀(Age)からなる造語。「多様化するメディアに対応できる世代が集う場」となるよう、願いが込められている。



(編集部:ご参加いただきました皆さんのスナップ写真を、できる限り数多く掲載できるよう試みましたが、誌面の都合もあり、一部のみとなりましたことお詫び申し上げます)

「MEDIAGE Aichi」は、会議、講習、講演、研修など、 各種催事にご利用いただけます

プロジェクター、スクリーン、マイク完備／貸駐車場／セキュリティ完備／オールOAフロア
お問い合わせは、TEL052-962-5771(印刷工業組合)まで。



「MEDIAGE Aichi」玄関前で。右より、岡田副理事長、鳥原副理事長、木野瀬副理事長、白井協同組合理事長、高井工業組合理事長、細井副理事長、加藤専務理事

「MEDIAGE Aichi」各階間取り

4F／愛知県紙
器段ボール箱
工業組合



3F／中部印刷
工業厚生年金
基金、大会議室



2F／全国印刷
工業健康保険
組合東海支部



1F／愛知県
印刷工業組合、
中部グラフィック
コミュニケーションズ工
業組合



MEDIAGE Aichi
テナント料(月):8,600円/坪、共益費(月):2,000
円/坪、保証金:テナント料の6か月分(いずれも税
抜き料金)。他に、警備料、電気料がかかります。



多様化するニーズに応じて

<p>オフセットインキ</p> <p>Avian PREMIER</p> <p>ニューアヴィアンプレミア</p>	<p>板装プロセスインキ</p> <p>Fusion G</p> <p>フュージョンG</p>	<p>カルトン用UVインキ</p> <p>Dai CURE ABILIO</p> <p>アビリオ</p>
<p>100%植物油型板装インキ</p> <p>Naturalith100</p> <p>ナチュラルリス100</p>	<p>新世代エッジ液</p> <p>Presarto</p> <p>プレサート</p>	<p>NEW 給水ローラーパッケージ</p> <p>DIC水棒ECOパック</p> <p>〔DIC水棒洗浄用ECO〕+〔DIC給水処理用ECO〕</p>

DICグラフィックス株式会社

■本 社 〒103-8233 東京都中央区日本橋3-7-20 ディーアイシービル

■名古屋支店 〒460-0003 名古屋市中区錦3-7-15

竣工記念祝賀会における理事長の挨拶

高井理事長と 組合員の皆様へ感謝

愛知県印刷協同組合 白井 紘一理事長

新印刷会館を建設するにあたって、組合員のお一人お一人に大きなご協力、ご支援をいただきました。その結果として今日の祝賀会を迎えることができました。心からお礼申し上げます。

組合の理事をおおせつから約30年になります。理事になった当初、旧印刷会館にはいろいろな問題があるということを知りました。したがって旧印刷会館を建て直さなければならなくなった時からの6年間が大変でした。多くの先輩方にご相談申し上げたり、アドバイスをいただきました。“建築主”という大役をおおせつかり、いま無事新印刷会館が竣工でき感無量です。これからの私の人生の中で、大きな思い出になることでしょう。

最後に高井（昭弘理事長）さんと組合員の皆様へ申し上げたい。私の理事長職を含めてのこれまでの6年間、高井さんから素晴らしい経験、勉強をさせていただきました。そして、組合員の皆様からは厳しいご指摘をいただく一方で、本当に暖かなお言葉もたくさんいただきました。あらためて心からお礼申し上げます。ありがとうございました。

組合事業への 積極的な参加を期待

愛知県印刷工業組合 高井 昭弘理事長

「MEDIAGE Aichi」のMEDIAGEは、「MEDIA（情報媒体）」と「AGE（世代）」の造語です。組合員の減少が続いていますが、新印刷会館を「多様化

するメディアに対応できる世代が集う場」と位置付けることによって、既存の印刷の枠を超えて、組合員が今後増える可能性が大いにあります。

印刷業界は厳しい環境にあります。情報の提供、伝達という原点に立ち返り、情報サービス業としてリセット、スタートすれば、必ず展望は開けるはずです。いつの時代にも情報発信者は存在します。

視点を変えると、情報発信手段が多様化した現在こそがビジネスチャンスなのです。ビジネスチャンスを的確にキャッチし、新たなビジネスモデルを構築するには、最新の情報収集、人材育成などが不可欠です。

新印刷会館はそのための拠点として機能します。情報発信基地、人材教育センター、それが新印刷会館です。

新印刷会館の竣工を契機として『健康な印刷産業』『夢のある印刷産業』を組合員の皆様と一緒につくっていきたく思います。

組合員の皆様の組合事業への積極的な参加を期待します。

●身近な催し物のお知らせ（愛印工組関係）

開催日時	事業・行事・場所・備考
4月3日(火) ～ 9月27日(木)	事業・行事 印刷業界の新人社員研修会 ところ MEDIAGE Aichi (前 愛知県印刷会館)
	※開催職務又は教科の内容及び実施日程は組合ホームページでご確認ください。 http://www.ai-in-ko.or.jp ※1講座毎のお申し込みも受け付けております。 ※新入社員向けの内容ですがどなた様でも受付させていただきます。
5月18日(金)	事業・行事 平成24年度 通常総代会 ところ 名古屋観光ホテル ※現職及び新任の理事・総代の方はご出席をお願い致します。

オフィスに店舗に工場に、「LED照明」をご提案いたします。

私たちは、
地球にやさしい商品とサービスの提供を通して、
心豊かな社会の実現に貢献します。



株式会社 **アクス**

本社所在地 〒460-0008 名古屋市中央区栄一丁目25番35号
名古屋本部 TEL:052-220-5511 FAX:052-220-5511
Home Page <http://www.axuas.jp> / E-mail info@axuas.jp

「LED照明器具」の販売を始めました。

「LED照明」は地球環境にやさしい照明です。
聞いてはいるがよく判らないという方のために、
本社1階にショールームを開設いたしました。
ぜひ一度、体験して下さい。

オフィス、店舗、倉庫、工場の照明をはじめ、
ディスプレイや電飾看板にも使えます。
必ずやお客様へのヒントがそこにあるはず。
心よりお待ちしております。
(名古屋本部 環境ソリューション事業部)

■ 竣工記念講演会

脱本業・拡本業へのイノベーション

大日本スクリーン製造(株) 石田明会長



講演中の石田会長と大勢の聴講者でうまった会場

今から144年前の1868年（明治元年）に京都で創業した「石田旭山印刷所」が大日本スクリーン製造のルーツです。そして石田旭山印刷所の写真製版用ガラススクリーン研究・開発・製造部門が独立してできたのが、大日本スクリーン製造です。1934年（昭和18年）のことです。従業員は7名でした。

それからの歴史は「イノベーションの歴史」といってもよく、写真製版用ガラススクリーンの技術を多方面に展開し、「思考展開」の経営理念のもと、事業の多角化を図りました。写真製版用ガラススクリーンの写真蝕刻技術は、印刷製版周辺機器、カラーテレビブラウン管用マスク、プリント配線板製造装置、半導体製造装置、FPD製造装置などの製造に応用され、現在も進化を続けています。

石田旭山印刷所の創業者（石田才次郎／「旭山」は雅号）から4代目となる私は1966年（昭和41年）に大日本スクリーン製造に入社しましたが、石田旭山印刷所に出向した経験があります。そこで実践したことは、画像技術を生かした「拡印刷」です。具体的には、画像の拡大技術を建装材業界へ、そして画像の縮小技術をエレクトロニクス業界へ展開したのです。これにともない、「写真技術を化けさせる」という意味合いから、石田旭山印刷所という社名を「写真化学」と変更しました。業績は向上し、出向後5年後の1973年（昭和48年）には、売上高11億円、従業員100名へと拡大しました。

石田旭山印刷所への出向は私にとって多くを学ぶ良い経験となりました。大日本スクリーン製造へ復帰後、この経験を生かし、「思考展開」にプラスして「脱本業・拡本業」を経営理念としました。

「脱本業」とは、本業からの脱却ではなく、本業で培った技術やノウハウに磨きをかけ、従来の手法を変革し、本業をさらに進化させることです。また、「拡本業」とは、本業のコア技術を新たな分野に応用展開、他企業、大学、研究機関とのコラボレーションを含め、新事業へ果敢に挑戦することです。

この結果として、半導体製造装置、液晶製造装置などの電子工業用機器が売上に占める比率が高くなり、海外比率も相対的に高くなってきました。

「脱本業・拡本業」の次に志向しているのは、「脱地域」です。具体的には「地場産業から国内・世界へ」ということです。中国の印刷会社の事例を紹介しましょう。北京の大手印刷会社では輸出が30～50%を占めます。また、香港の印刷業界は75～100%が輸出です。グローバル化により、さらなる伸張を図っているのです。

「地場産業から国内・世界へ」は、シーラカンスやメタセコイヤといった生きた化石にならないようになるためにも必要なことです。進化しないと退化してしまいます。開発・製造・営業・人事・理財といった経営要素のパワーバランスを保ちながら、一緒に乱世を駆け抜けましょう。

KONICA MINOLTA

Giving Shape to Ideas

大評判

コニカミノルタに全てお任せください。

自撮正

Digital Konsensus Premium Ultimate Edition

FolioAid AQUA

デジタル印刷

bizhub PRESS C7000

環境対応プレート

ケミカルレスCTPシステム

BLUE EARTH

コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社 デジタルイメージング事業部 中部営業部 〒460-0008 名古屋市中区栄2-9-15 三井住友海上生命ビル5F TEL. 052-229-4624(代)

木野瀬吉孝次期理事長候補が 副理事長候補4氏を発表

細井俊男氏(留)、鳥原久資氏(留)、
岡田邦義氏(留)、鈴木正氏(新)

平成23年度2月期理事会(第6回)・支部長会(第3回)が、2月16日午前11時より、メディアージュ愛知3階会議室で開催されました。

冒頭、挨拶に立った高井昭弘理事長は、「メディアージュ愛知での初めての理事会です」と前置きして、次のように述べました。

「新しい会館の建設にあたって“このような時期によくやるね”という言葉が聞きました。しかし、今、振り返ってみて、建設して良かったと私は確信しています。これも皆様のご協力、ご助言のためものです。この場を借りてお礼申し上げます」

この後、規定により高井理事長が議長を務め、理事会・支部長会に入りました。

〈理事会〉

1) 組合員の加入・脱退

「加入なし、脱退1社」と加藤修専務理事が報告。

2) 平成23年度決算見込みの件

高井理事長が平成23年度一般会計収支決算見込み(平成24年1月現在)を説明。説明の中で「今期は約700万円の赤字を見込んでいましたが、赤字が大幅に減少してきました」と述べ、収支が当初より改善される見通しを明らかにしました。

3) 愛知県印刷会館竣工記念事業の件

木野瀬吉孝副理事長が、理事会・支部長会後に開催される記念講演会、記念祝賀会の内容を説明。

4) 平成23年度委員会事業の報告(前回理事会12/2

以降)

●組織・官公需委員会

吉川正敏委員長が「印刷物の積算見積書提出に関するアンケート」を中心に、官公需対策の進捗状況を説明。木野瀬副理事長が「アンケートで返答の無い会社は『賛成とみなす』という一文を付け加えていただきました」と捕捉説明。

●経営・革新環境委員会

細井俊男副理事長が第3回ポスターグランプリの実施要領を説明。

●マーケティング委員会

鬼頭則夫委員長が1月17日開催の委員会(議題は竣工記念セミナー)の内容を報告。

●共済・労務委員会

猪飼重太郎委員長がレクリエーションと共済事業について説明するとともに協力を要請。

●教育委員会

岡田邦義副理事長が平成24年度「印刷業界の新入社員研修会」の内容を説明するとともにAdobe全印工連特別ライセンス第2期募集結果を報告。

●青年部

荒川壮一担当理事が全国の青年印刷人が集うイベント「Print Next2014」を名古屋(中部ブロック)で開催することを報告。

この後、高井理事長から全印工連の次期役員の報告があり、愛印工の次期副理事長については、次期理事長候補の木野瀬副理事長が、細井俊男、鳥原久資、岡田邦義の3副理事長の留任、鈴木正理事(東三河支部長)の新任を提案。拍手で承認されました。

5) 報告事項

なし

6) その他

TOYO INK

生活文化創造企業

あなたが企業に求めるものは何ですか？私たちはモノ作りの会社として、
先端の技術、最高の製品と品質、そしてまた、さまざまな企業活動を通じて、あらゆる人々に
“満足”を届け、しあわせな生活のシーンを支えていくことだと考えます。
私たち東洋インキグループは、世界にひろがる
「生活文化創造企業」を目指します。

東洋インキ株式会社
www.toyoink.co.jp
中部支社 〒461-0025 愛知県名古屋市東区徳川1-901 サンエース徳川ビル1階 Tel: 052-979-7451

商工中金の特別融資制度について加藤専務理事が説明。

〈支部長会〉

各支部長及び代理人が支部の活動状況を報告。

■組織・官公需委員会の報告に関する質疑応答

組織・官公需委員会の官公需対策に対して、出席理事から「三重県では北川（正恭）知事の時に、県庁内の印刷機を全部出しました。愛知県でも、県庁や各市町村が設備する印刷機を全部出していただくような要請を組合が絶対にすべきではないでしょうか」という意見が出されました。

これに対して木野瀬副理事長は次のように回答しました。

「県の印刷機に関しては申し入れはしてあります。県の意向としては、正式な返答ではないのですが、『今後、もう入れることはない。増設することはない』とのこと。ただ、現在使用中のものは、しばらくは使うという姿勢です」

官公需対策に関連して、木野瀬副理事長は官公庁の一般競争入札における「競り下げ方式」（一定の時間内に複数の入札業者に繰り返し最安値を競わせる方式）導入がデフレと価格破壊をもたらすと危険性を指摘。昨年12月と本年1月に競り下げ方式による入札を実施した厚生労働省に個人的に抗議文を送り、「その返答を厚生労働省からもらう」ことになっていることを明らかにしました。

また、木野瀬副理事長は「印刷物の積算見積書提出に関するアンケート」の目的を説明し、理解と協力を求めました。

なお、出席理事から「厳しい姿勢でないと、業界は流されてしまいます。活動内容や返答を報告してください」という要望が出されましたので、随時、「あいちの印刷」で官公需対策を取り上げます。

■財務省／造幣局

東日本大震災復興事業記念貨幣のデザイン募集

東日本大震災からの復興事業を国民的事業として記念して、1万円金貨及び千円銀貨を発行することになり、そのデザインを募集している。

〈募集要項〉

(1)デザインの内容

①テーマは自由ですが、東日本大震災からの復興事業を記念するものとする。②募集するのは、1万円金貨幣(直径26mm、純金)、千円銀貨幣(直径40mm、純銀、カラー)。③貨幣になったときは「日本国」と「額面」が入る。

(2)応募の方法

①未発表のオリジナル作品に限る。②白のA4版用紙を横に使用し、1万円金貨幣は直径13cmの円形、千円銀貨幣は直径16cmの円形に描く。(中学生以下は円形に描かなくても可)。③1万円金貨幣は黒色、千円銀貨幣はカラーで描く。④デザインの応募は、郵送でも電子メールでも可能。

(3)送り先

・1万円金貨幣／〒539-0022郵便事業(株)大阪支店気付け 造幣局金貨デザイン担当(封筒に「1万円金貨図案」と朱書き)

・千円銀貨幣／〒539-0033郵便事業(株)大阪支店気付け 造幣局銀貨デザイン担当(封筒に「千円銀貨図案」と朱書き)

・メールの場合は、造幣局ホームページ

<http://www.mint.go.jp/>へ。

(4)締め切り及び入選発表

締め切りは平成24年3月21日(水)必着。入選発表は平成24年5月末。中間発表も行う。

(5)表彰

入選作品には、表彰状、記念品を贈呈。

(6)問い合わせ先

ハローダイヤルTEL050(5548)8686造幣局金貨デザイン担当又は銀貨デザイン担当
e-mail:kahei.koubo@mint.go.jp

KOMORI
Kando: Beyond Expectations

LITHRONE 300
LITHRONE CORPORATION

H-UV
Innovative Curing System

ハイブリッドUVシステム

瞬時乾燥とパウダーレスが短納期と高品質をもたらす
革新的な乾燥システムが商業印刷を変えました。

Made in Japan with state-of-the-art technologies

株式会社 小森コーポレーション 名古屋支店 〒454-0807 名古屋市 中川区 愛知町 4-6 Tel:052-363-5011 www.komori.com

■「グリーン購入法」情報

「グリーン購入法」の印刷基準に 「GP認定基準」の一部を採用

(社)日本印刷産業連合会(猿渡智会長、以下/日印産連)が展開している印刷産業界の環境に配慮した印刷総合認定制度「グリーンプリンティング(GP)認定制度」の認定基準の一部が、このたび、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(グリーン購入法)の判断基準等に採用された。

これは、平成24年2月7日に閣議決定されたグリーン購入法に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針」の変更点のなかで、「役務—印刷」の判断基準にグリーンプリンティング(GP)認定制度における認定基準の一部を参考に改定されたもの。

今回のグリーン購入法・基本方針の変更は、前年度の「製版、刷版、オフセット印刷、表面加工、製本加工」各工程のGP工場認定基準の必須項目の採用に引き続き、デジタル印刷工程認定基準の必須項目(印刷機の種類低減、製紙原材料等へのリサイクル)が採用された。

この結果、印刷業界の代表団体である日印産連が客観的照明により認定しているグリーンプリンティング認定工場は、グリーン購入法の印刷に係る判断基準「印刷の各工程における環境配慮基準」を満たしている工場として位置付けられることになった。

**PP貼りサービス始めました
PP貼りだけの仕事やります**

制作から印刷・製本・発送まで自社一貫体制

- ◎カラーもモノクロもページもの印刷得意です
- ◎菊全シルバーマスターでのページもの印刷もできます
- ◎厚紙パッケージ菊全4色印刷始めました

大日印刷株式会社

☎0564-62-8461(代)

幸田工場 額田郡幸田町大字坂崎字石ノ道46-1 FAX(0564)62-8463

●印刷機械
●製版機械
●製本機械
●DTP関連機
●印刷諸材料
●データ制作
●オンデマンド印刷
●データ出力

お役に立てる
印刷関連
総合商社

株式会社 盛功社

〒461-0014 名古屋市中区栄3丁目17番地
TEL.052-932-5911 FAX.052-931-0290
http://sekoufnet.jp/

120余年の伝統に
培われた信頼と
先進の
テクノロジー

■環境省「環境物品等の調達の推進に関する基本方針」の変更について

「LED照明」「自動車」「印刷」に関する判断基準の強化を図るなど、15品目の基準などの見直しが行われた。

【変更点/主な品目における基準見直しの概要】

[1] LED照明器具及び電球形状のランプ(LEDランプ)
光源色別のエネルギー消費効率を設定し、エネルギー消費効率や寿命など判断の基準強化を図る。

[2] 自動車 重量車の追加など対象範囲を拡大。また、ガソリン車における燃料基準及び乗用車における排出ガス基準の強化を行う

[3] 高日射反射率塗料 JIS企画の判定に伴い、高光度塗料の扱いを主とした判断の基準の見直しを行う。

[4] 印刷 デジタル印刷に関連する各工程における環境配慮項目を判断の基準に追加。また、オフセット印刷に使用するインキ、デジタル印刷に使用するトナー及びインクの化学安全性の確認を判断基準に追加した。

〈参考資料〉

■グリーン購入法「印刷—役務」の「判断の基準」について
国の発注基準であるグリーン購入法の印刷役務の「判断基準」として、印刷を発注する印刷会社が行っていないと認められない各工程の環境配慮基準が設定されている。

「環境物品等の調達の推進に関する基本方針」から

20-2 印刷

【判断の基準】

印刷の各工程において、表2に示された環境配慮のための措置が講じられていること。

表2 オフセット印刷又はデジタル印刷に関連する印刷の各工程における環境配慮項目及び基準

工程	措置	基準
製版	デジタル化	工程のデジタル化(DTP化)率が50%以上であること。
	後述及び製版フィルムからの回収	製版フィルムを使用する工程において、後述及び製版フィルムからの回収を行っていること。
刷版	印刷版の再使用又はリサイクル	印刷版(アルミ基材のもの)の再使用又はリサイクルを行っていること。
	VOCの発生抑制	溶剤を除去した印刷版に使用する等のVOCの発生抑制策を講じていること。
オフセット	製紙原料へのリサイクル	製紙原料の環境負荷低減のために、VOC抑制装置を設置し、適切に運転管理していること。
	VOCの発生抑制	製紙原料の環境負荷低減のために、VOC抑制装置を設置し、適切に運転管理していること。
デジタル	製紙原料へのリサイクル	製紙原料の環境負荷低減のために、VOC抑制装置を設置し、適切に運転管理していること。
	VOCの発生抑制	製紙原料の環境負荷低減のために、VOC抑制装置を設置し、適切に運転管理していること。
表面加工	製紙原料へのリサイクル	製紙原料の環境負荷低減のために、VOC抑制装置を設置し、適切に運転管理していること。
	VOCの発生抑制	製紙原料の環境負荷低減のために、VOC抑制装置を設置し、適切に運転管理していること。
製本加工	製紙原料へのリサイクル	製紙原料の環境負荷低減のために、VOC抑制装置を設置し、適切に運転管理していること。
	VOCの発生抑制	製紙原料の環境負荷低減のために、VOC抑制装置を設置し、適切に運転管理していること。

紙でご愛顧50年

印刷用紙専門商社



メイカミ

名古屋紙商事株式会社

社長 長谷川 志

名古屋市中区主税町4-83 〒461-0018
TEL.052-931-2221(代) FAX.052-932-1418

豊山加工センター 愛知県西春日井郡豊山町豊場
TEL (0568) 28-2049



日本印刷学会中部支部

「冬季印刷技術セミナー」開催

テーマ：湿し水／この魔法の水を自在に操る法

(社)日本印刷学会中部支部では、愛知・岐阜・三重の各印刷工業組合、画像技術研究会、中部GC工業組合の協賛により、1月28日東桜会館で「冬季印刷技術セミナー(湿し水／この魔法の水を自在に操る方)」を開催した。

【セミナーテーマ】

◆「インキの組成と湿し水の役割」 東洋インキ(株)印刷・情報技術統括部技術第1部第1課課長花田朋弘氏。

◆「CTP版材と湿し水」 富士フィルム(株)グラフィックシステム事業部刷版事業グループ松田伸明氏。

◆「自社印刷現場での問題点と解決策(質疑応答タイム)」花田、松田両氏、司会：画像技術研究会高木茂男氏。

花田氏は、「インキメーカーの観点から湿し水とインキの関係について話をする」と前置きし、次の項目について説明した。①湿し水に要求される能力、②湿し水とインキの関係、③インキから見た湿し水の管理。

また、松田氏は、「良い湿し水&プレート」について、「オフセット印刷特有のトラブルを抑制する機能をCTP版と湿し水に付与することで、高品質&使いやすさの向上が期待できる。ただし、良い材料を使用する、湿し水を使いこなすことがポイントになる」と指摘した。

質疑応答タイムでは、湿し水、インキ、版材におけるトラブル解決策などが話し合われた。また、オブザーバーとして日本平版機材(株)武井満社長が加わった。

第11回印刷産業環境 優良工場表彰応募要領

(社)日本印刷産業連合会(猿渡智会長)が主催する印刷産業環境優良工場表彰の応募要領が発表された。

1) 応募資格

①(社)日本印刷産業連合会の会員団体傘下企業、②印刷及び印刷加工に係わる工場、③第2次審査への応募は、1企業につき1工場に限る、④工場稼働後3年以上経過していること(平成24年3月1日現在)。

2) 応募の手続き

①応募する工場は第1次審査用応募表を1通提出、②過去に当環境表彰を受賞した工場は第1次審査を免除、③第1次審査を通過した工場が第2次審査用応募書類を提出することができる(該当工場には連合会から4月中旬に通知)。

※応募書類は日産連ホームページからダウンロードできる。<http://www.jfpi.or.jp/>

3) 応募期間

第1次審査 平成24年2月20日(月)～3月30日(金)

第2次審査 平成24年4月20日(金)～5月31日(木)

4) 表彰の種類

経済産業大臣賞、経済産業省商務情報政策局長賞、(社)日本印刷産業連合会会長賞、(社)日本印刷産業連合会奨励賞。(上記以外、表彰に値する工場には特別賞を授与)

5) 審査方法及び審査基準

書類審査及び現地審査(必要に応じ)。審査基準(略)。

6) 表彰式

日時：平成24年9月12日(水)

会場：ホテルニューオータニ(東京都千代田区)

「2012年印刷の月・記念式典」にて表彰

7) 問合せ先

(社)日本印刷産業連合会環境表彰担当

〒104-0041 東京都中央区新富1-16-8

TEL03(3553)6051 FAX03(3553)6079

なぜ、人材派遣はモトヤ？

印刷関連業務のスタッフを
必要なときに必要な期間だけ
派遣します。

人材を探している企業と仕事を探している人材の出逢いのサイト

M-JOB-N@VI

<http://www.m-job-navi.com/>

モトヤ人材派遣部 名古屋 ☎(052)935-5315

モトヤ人材派遣部 大阪 ☎(06)6261-1941

モトヤ人材派遣部 東京 ☎(03)3523-8719

派遣事業許可番号 般 27-030254/総合事業許可番号 27-ユ-030174

それは、印刷関連業務に特化した
人材派遣・紹介を展開しているのは、モトヤだけだから...

■ 派遣職種 ■

- コピーライター ● デザイナー ● WEBデザイナー
- DTPオペレーター ● スキャナーオペレーター ● CTPオペレーター
- 印刷オペレーター ● 校正 ● 印刷進行管理者 など全般

業界で一番お客様思考に立った印刷関連総合会社を目指す

 株式会社 **モトヤ**

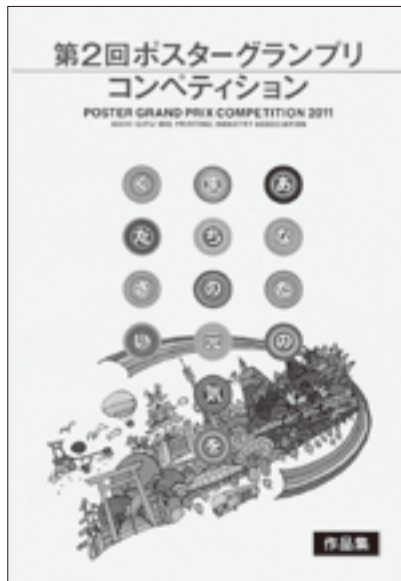
<http://www.motoya.co.jp/>

名古屋 〒461-0035 名古屋市東区黒門町 128 ☎(052)935-5315

大阪 〒542-0081 大阪市中央区南船場 1-10-25 ☎(06)6261-1931

東京 〒104-0032 東京都中央区八丁堀 4-5-5 ☎(03)3523-8711

横浜・埼玉・千葉・京都・神戸・姫路・福岡



作品集は、A4判16ページ、非売品。

第2回ポスターグランプリコンペティション

「作品集」ができました

愛知、岐阜、三重3県の印刷工業組合と愛知県印刷協同組合が主催し、“まちの魅力を伝えよう！”をテーマに開かれました第2回「ポスターグランプリ」の作品集が出来上がりました。作品集には、グランプリ、優秀賞、特別賞、協賛会社賞、そして、入選作品151点が掲載されています。

作品集の刊行にあたり、愛印工組高井昭弘理事長は次のような言葉を寄せています。「前回は越える300点近くの応募がありました。どの作品も大変素晴らしく、若者の感性の豊かさに感動いたしました。時代はハードからソフトに変遷しておりますが、そのソフトの中心にはデザインがあります。これを支えていくのは学生さんたちです。彼らの若く新しい感性や発想が最も必要とされている時代だと思えます。デザインは、我々の業界においてはなくてはならないものの一つです。デザインなくしては成り立たない業界です。このポスターグランプリが目的としている『デザインを志す若者の育成』は、ひいては未来の印刷業界の発展に繋がると信じております。デザインを志す若者が、力を発揮できる場所は印刷業界であると認識し、組合としても頑張っております」。(抜粋)

お知らせ

特別管理産業廃棄物管理責任者に関する講習会

【概要】特別管理産業廃棄物管理責任者に関する講習会は、廃棄物処理法に定められている特別管理産業廃棄物管理責任者になろうとする人などが、必要な知識を習得することを目的としている。

【受講対象者】特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を取得されたい方などが対象。

【受講の目的】特別管理産業廃棄物に係わる管理全般にわたる業務を、適切に遂行するために必要な知識及び技能を習得することを目的としている。

【講習会】講習会名：特別管理産業廃棄物管理責任者に関する講習会、対象者：特別管理産業廃棄物管理責任者の資格並びに必要な知識を習得しようとする方、講習機関：1日、受講料：12,000円（税込み）

【平成24年度講習会】開催日程の公表：平成24年3月25日、受付開始：平成24年4月1日。

申し込み受付については、4月1日以降に各都道府県にある産業廃棄物

協会に問い合わせを。

【詳細】(社)愛知県産業廃棄物協会
〒460-0022 名古屋市中区金山2-10-9
第8フクマビル5F
TEL052(332)0346 FAX052(322)0136

事務局だより

■愛知県印刷工業組合の新印刷会館「MEDIAGE Aichi (メディアージュ愛知)」が竣工いたしました。2月16日に来賓、組合員の方々約130名の参加を得まして竣工披露祝賀会を開催いたしました。ご参加いただきました皆様にお礼申し上げますとともに、ご都合で参加できなかった皆さんも、是非一度足をお運びください。新印刷会館メディアージュ愛知

は、業界の拠点として、組合員の皆様方の情報発信基地としての役割を担っていきます。今後、講習会、セミナー、各種の催しものなどを通じ、最新情報の提供、また、人材育成センターとして幅広い活動を行ってまいります。ご期待ください。■本文7ページの記事にもご案内いたしましたが、4階にテナントを募集しております。地下鉄桜通線「高岳」駅1番出口から徒歩3分の立地条件にあります。テナントを探している企業など、お心当たりがありましたら是非お勧めください。■新しい事務局に移り事務職員も頑張っております。組合事業に関し、何かありましたらお気軽に声を掛けていただければ幸いです。

あいちの印刷

No.484

平成24年3月10日発行

発行人 高井昭弘

編集 組織・官公需委員会

発行所 愛知県印刷工業組合

〒461-0001 名古屋市東区泉一丁目20番12号

TEL 〈052〉962-5771

FAX 〈052〉951-0569

◆ホームページアドレス <http://www.ai-in-ko.or.jp/>

◆E-mailアドレス jimukyoku@ai-in-ko.or.jp